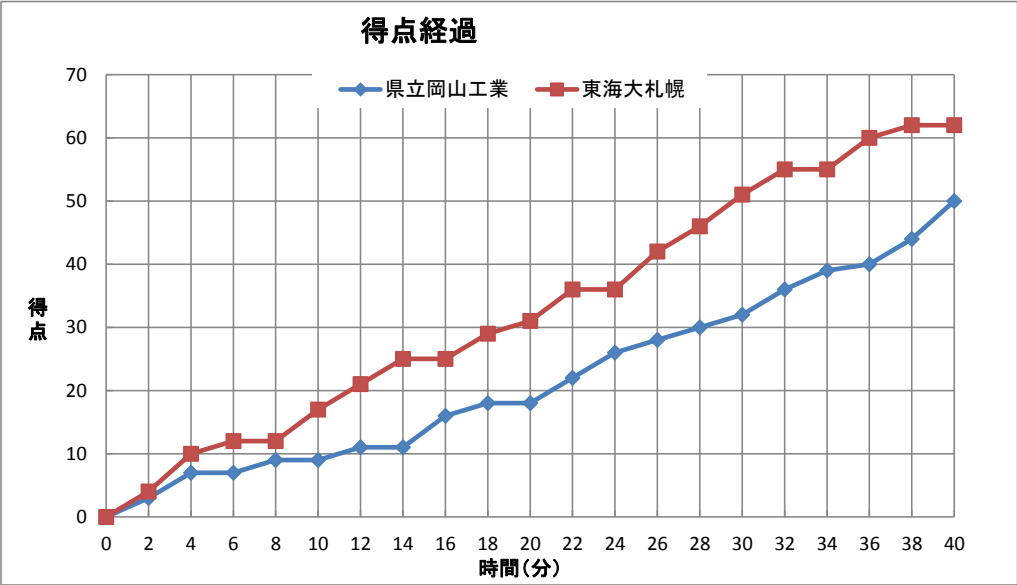




平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子		平成28年8月1日		11:10 開始									
2 回戦		県立総合体育館大アリーナ		D									
県立岡山工業 50		91st17 92nd14 143rd20 184th11		62 ◎ 東海大札幌									
(岡山県)				(北海道)									
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	伊藤 聖浩	10	1	3	1	3	* 4	内田 元貴	6	0	3	0	0
5	角谷 大成	0	0	0	0	1	5	石井 優人	4	0	2	0	3
* 6	秋岡 和典	15	0	5	5	3	6	高橋 主	-	-	-	-	-
* 7	大山 直登	10	0	3	4	2	7	相馬 陸	-	-	-	-	-
* 8	黄 杲路	10	0	5	0	2	* 8	白勢 恭平	6	0	2	2	4
9	岡村 竜生	-	-	-	-	-	9	佐々木 悠斗	0	0	0	0	0
10	三宅 怜哉	-	-	-	-	-	* 10	木村 優斗	0	0	0	0	2
11	三宅 曜平	-	-	-	-	-	11	島谷 怜	7	1	2	0	0
* 12	國次 立樹	4	0	2	0	0	12	溝口 月斗	10	0	5	0	1
13	田中 玲司	-	-	-	-	-	13	山本 鳴海	7	0	2	3	1
14	河本 直也	-	-	-	-	-	* 14	柴田 京哉	11	1	4	0	0
15	林 汰成	1	0	0	1	1	* 15	長尾 光輝	11	1	4	0	1
コーチ	岸本 哲也					0	コーチ	佐々木 睦己					0
Aコーチ	二宮 滉司郎						Aコーチ	島崎 紘一朗					
合 計		50	1	18	11	12	合 計		62	3	24	5	12
主審: 松岡隆博													
副審: 前田信													



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	5:07	14:00	26:45	:	:	:	:	:	:
TeamB	15:31	:	33:38	:	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでゲーム開始。岡山工業は、#12のスピード溢れる速攻を皮切りに、#6を中心としたオフェンスを展開する。対する東海札幌は、#4の確率の高いミドルシュートで応戦。#14、#15の2年生コンビを主軸に持ち前の速さで岡山工業の固い守りを突破しファウルを誘う。チームファウルによるフリースローをしっかりと沈めた東海札幌のリードでこのピリオドを終える。

第2P、岡山工業のしっかりとしたディフェンスローテーションを持ってしても、東海札幌のアウトサイド陣のスピードを増すドライブインに翻弄される展開が続く。なんとか食らい付きたい岡山工業は、タイムアウト後、ディフェンスのカバーが一層速くなり、東海札幌のオフェンスに対応する。生じた東海札幌のターンオーバーを#4、#6が速攻で確実に加点していくが、ピリオド終盤、東海札幌#12の献身的なオフェンスリバウンドがバスケットカウントになり、チームが息を吹き返す。そのままリードを保ち前半を終了する。

第3P、東海札幌のディフェンスに対して、岡山工業は広くスペーシングし#4と#6が1対1を仕掛けていく。点の入れ合いが続く、一進一退の攻防が続く中、東海札幌のディフェンスが冴える。岡山工業のターンオーバーが続いた隙を見逃さず#14が3Pを沈め、点差を前半以上に広げることに成功する。

第4P、岡山工業は前半同様、激しいディフェンスローテーションを駆使し巻き返しを試みる。さらには、オールコートでプレッシャーをかけていくが、東海札幌の勢いは止まらない。その後も緩急のあるボール運びと安定したパス回しでオフェンスを展開していく。そのままタイムアップを迎え、50対62でゲームセット。速さが光る東海札幌が第3回戦へ進出を決めた。

戦評: 西尾 友貴 記録: 海田高校